

みずほCustomer Desk Report 2024/01/24 号 (As of 2024/01/23)

金融市場部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値 GBP/USD	148.17 AUD/USD
TKY 9:00AM	148.13	1.0876	161.19	1.2707	0.6571
SYD-NY High	148.70	1.0916	161.62	1.2747	0.6612
SYD-NY Low	146.99	1.0822	160.49	1.2650	0.6552
NY 5:00 PM	148.37	1.0853	161.04	1.2688	0.6579

	終値	(前日比)		終値	(前日比)
NY DOW	37,905.45	▲ 96.36	日本2年債	0.0200%	0.0000%
NASDAQ	15,425.94	65.66	日本10年債	0.6400%	▲0.0100%
S&P	4,864.60	14.17	米国2年債	4.3710%	▲0.0212%
日経平均	36,517.57	▲ 29.38	米国5年債	4.0412%	0.0126%
TOPIX	2,542.07	▲ 2.85	米国10年債	4.1311%	0.0248%
シカゴ日経先物	36,505.00	▲ 185.00	独10年債	2.3475%	0.0895%
ロンドンFT	7,485.73	▲ 1.98	英10年債	3.9825%	0.0780%
DAX	16,627.09	▲ 56.27	豪10年債	4.2070%	▲0.0290%
ハンセン指数	15,353.98	392.80	USDJPY 1M Vol	8.50%	▲0.70%
上海総合	2,770.98	14.64	USDJPY 3M Vol	9.06%	▲0.22%
NY金	2,025.80	3.60	USDJPY 6M Vol	9.38%	▲0.13%
WTI	74.37	▲ 0.39	USDJPY 1M 25RR	▲0.91%	Yen Call Over
CRB指数	268.20	1.25	EURJPY 3M Vol	8.69%	▲0.12%
ドルインデックス	103.62	0.29	EURJPY 6M Vol	9.20%	▲0.05%

東京	東京時間のドル円は148.13レベルでオープン。日銀政策決定会合の結果を控えた様子見ムードの中、午前中は動意に乏しい展開に。金融政策維持が発表されると一時148.60まで円が売られたが、織り込み済みの結果ということもあり、円売りは続かず148円台前半まで水準を戻した。その後は植田日銀総裁の会見を控え、148円を挟み推移し、結局148.00レベルで欧州へ渡った。
ロンドン	ロンドン市場のドル円は、148.00レベルでオープン。朝方は植田日銀総裁の会見が政策修正観測を想起してか円買いとなり一時146.99円まで売られる。しかしその後は一本調子に戻し、結局ほぼ変わらずの148.00レベルでNYに渡った。欧州株は、米決算を控えて動意薄の中、リスクセンチメントは中立だった。
ニューヨーク	海外市場のドル円は148円台前半でスタート。日銀による現行の金融緩和政策の維持が発表され、市場は円売りで反応し、146.60まで上昇する。しかし、発表された内容が織り込み済みからか、その後失速し、148円台丁度付近まで反落。続いて行われた植田日銀総裁の記者会見では、「消費者物価の上昇率 2%に向け、確度は少しずつ高まっている」等との発言を受け、円買いが進み146.99まで下落するも、その後特段サプライズ発言は見当たらず、円が売り戻される展開を受け、ドル円は上昇し148.00レベルでNYオープン。朝方は米長期金利における一段の上昇を横目に、底堅い推移が続き、148.70まで値を上げる。午後は買い一巡となり、148.30付近まで反落。その後次第に小動きとなり、148.37レベルでクロス。一方、海外市場のユーロドルは1.08台後半でスタート。欧州時間にかけて、1.0916まで上昇するも、その後米金利が上昇する展開が下押し要因となり、軟調な値動きが続き、1.0865レベルでNYオープン。午前中は米金利の上昇基調を受け、1.0822まで統落。午後はドル売り地合いから徐々に値を戻し、1.0853レベルでクロス。

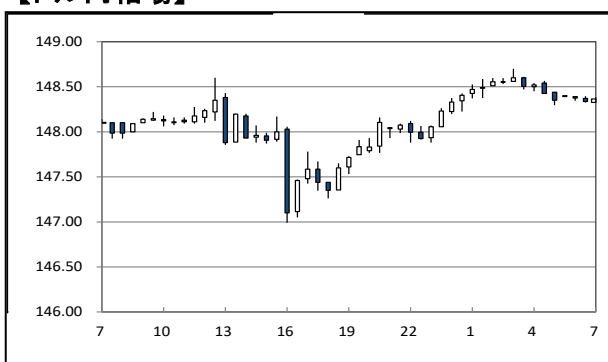
【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
1月23日	09:30	豪 NAB企業信頼感	12月 -1	-
	09:30	豪 NAB企業景況感	12月 7	-
	12:09	日 日銀金融政策決定会合 政策金利	1月 -0.10%	-0.10%
	15:30	日 植田日銀総裁 会見	物価目標に向け、確度が少しずつ高まっている	
1月24日	00:00	欧 消費者信頼感・速報	1月 -16.1	-14.3

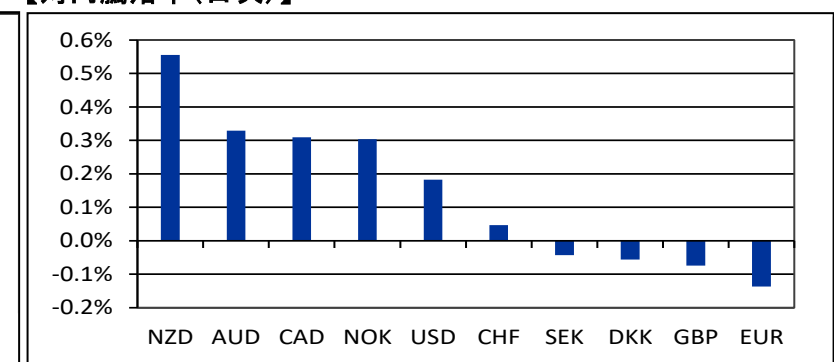
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
1月24日	08:50	日 貿易収支	12月 -¥122.6b	-¥780.4b
	17:30	独 製造業PMI・速報	1月 43.7	43.3
	17:30	独 サービス業PMI・速報	1月 49.3	49.3
	17:30	独 コンポジットPMI・速報	1月 47.8	47.4
	18:00	欧 製造業PMI・速報	1月 44.7	44.4
	18:00	欧 サービス業PMI・速報	1月 49.0	48.8
	18:00	欧 コンポジットPMI・速報	1月 48.0	47.6
	23:45	米 製造業PMI・速報	1月 47.6	47.9
	23:45	米 サービス業PMI・速報	1月 51.5	51.4
	23:45	米 コンポジットPMI・速報	1月 51.0	50.9

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	147.70-149.20	1.0820-1.0920	160.50-161.70

【マーケットインプレッション】

昨日のドル円はボラタイルな展開。日銀の金融政策現状維持のヘッドラインが出ると一時148.60まで円が売られたが長続きはせず、すぐに失速。植田日銀総裁の記者会見の中で、ややタカ派的な発言を受けドル円は146.99まで下落。その後は再び円は売り戻され結局148円台を推移しクローズ。本日のドル円は底堅い展開を予想する。昨日の植田総裁の会見では「目標物価に向け、確度が少しずつ高まっている」等の発言も見られたが、年明け以降の円売り地合いが転じるまでには至っていない。米国ではFOMCを来週に控えており、ここもとの米経済指標では強い結果が目立っているため、早期の利下げ期待が後退している。かかる中、本日発表の米1月PMIが予想比強めの結果となれば、149円台を目指す可能性もあろう。

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。なお、当行は本情報を無償のみ提供しております。当行からの無償の情報提供を望まれない場合、配信停止を希望する旨をお申し出ください。

担当: 南野・伊藤